



# さくらたより

令和5年度 学校だより  
NO. 19  
令和5年11月14日発行  
山形市立桜田小学校

## 6年 修学旅行 東京へ 11月9日(木)～10日(金)

修学旅行は、教室を社会の中に移しての学習です。たくさんの学びとともに、たくさんの思い出をつくることができました。多くの皆様のご協力のもと、実施できたことに感謝いたします。

### 楽しい時間はあっという間

旅の途中で、ある子が担任に言いました。「先生、『楽しい時間はあっという間に過ぎる』っていうんですね。」 — そうです、そうです。楽しかった二日間、あっという間に過ぎ去りました。心地よい疲労を感じながら、子どもたちとの時間の余韻に浸っています。

### 夕食のひととき「みんなで一緒においしいものを食べられるなんて、素敵ですね！」

私が特に心に残ったのは、一日目の夕食時での出来事です。両国で、ちゃんこ鍋を囲みながらのひととき。それはそれは楽しく、ワイワイはしゃぎながら食べたのでした。男子のテーブルでは水コップを持ちながら「10年後、こうやって“同窓会”だね！ オレがさあ、こうやって、『かんぱ～い！』っていうからな」という声。「1組ではさあ、こうやって盛り上がるうぜ！『イエ～イ！』」「負けてらんない。2組ではさあ、……『イエ～イ！』」 さすがにここで、担任からブレーキがかかりました。



思い起こせば、この子たちが3年生になる時に“コロナ”で休校。再開してからの給食は“黙食”を強いられてきました。6年生になって、5月に制限が緩くなったとは言え、楽しく語らいながらの食事は、なかなか…。その、少々抑圧されてきた思いが、この夕食時に表面に出てきたのかもしれませんが。「先生、みんなで一緒に、こんなにおいしいものを食べられるなんて、素敵ですね！」「先生、夜なのに、仲間と一緒にいられるって、素敵ですね！」そう語る子どもの言葉に、楽しく語らいながら食べることの大切さを痛感しました。

### 主な行程 1日目

**国会議事堂** 政治の中枢を感じてきました。見学団体が非常に多かったためか、説明はほとんどなし。少々消化不良。

**議員会館にて昼食** 議会関係者の方と同じ空間で食事。

**科学技術館** 山形県産業科学館（霞城セントラル内）をイメージしていただくとわかりやすいかもしれません。



**昭和館** 昭和の始まりから昭和40年頃までの出来事と一般国民の暮らしぶりを紹介した施設です。戦争前の穏やかな暮らし～戦争に突入～戦時中の暮らし～空襲・原子爆弾投下・敗戦～廃墟からの復興。展示物や説明パネル、体験コーナー（防空壕や井戸水くみ上げポンプなど）で、戦前・戦中・戦後をわかりやすく伝えようと工夫がされていました。ここは歴

史の学習と深く関わる場所。子どもたちは「こんなことがあったのか」と、言葉少なに見入り、メモをしていました。伝えるべきは伝えていくことの大切さを改めてかみしめています。教室での学びが、これから深まっていくことを期待します。

**スカイツリー** 展望台。薄暗い空間から、東京の美しい夜景に見とれました。時間が限られる中、お土産選びも。家人を思い、あれこれ悩む姿がかわいくてなりません。



都市センターホテル

**両国で夕食** (上記)

**都市センターホテル宿泊** 2~3人部屋。何を語り合ったのでしょうか。



バイキング朝食

## 2日目

**バイキング朝食** 食べました、食べました。バランスを考え、また、自分が好きなものをたっぷり。

**浅草寺／仲見世** 班ごとに回りました。自分で選んで、自分で食べたり買い物したりできる楽しさを、存分に味わいました。



**上野公園 班別行動** (科学博物館・動物園・西洋美術館・国立博物館)

昼食も自分たちで計画していた場所で。たっぷり4時間、少々雨に打たれながら、班ごとに歩き回りました。さすがの子どもたちも、ヘトヘトになりました。



動物園

この二日間、移動手段は新幹線、バス、地下鉄。公共の交通機関を利用する際、また、人がたくさん行き交う中での歩行時など、マナーの現地学習にもなりました。



地下鉄

## 永久保存版として心の引き出しに

仲間との時間・空間。各見学場所で、各宿泊部屋で、どんなことを語り合ったのでしょうか。何を話したかは忘れてしまっても、「楽しかったんだ！ ワクワク胸が躍っていたんだ！」という感情は、いつまでも残ることでしょう。心を解放し、大いにはしゃいだ2日間。永久保存版として心の引き出しにしまわれることでしょう。

## 担任・養教の頑張りにも拍手！

担任団の準備なしには成り立ちません。①この旅行で学んでほしい、学ばせたいと考える「担任の願い」と、「子どもたちの思い」とのすり合わせ ②ねらいに迫るための旅行行程の計画立案と旅行業者との綿密な打ち合わせ ③友だち関係を考慮した行動班づくりや部屋分け ④子どもたちの事前学習への準備と指導 ⑤アレルギーや服薬等、本人とご家族からの聞き取りをもとにした対応の準備 ⑥各行程で予想される動きをもとにした細かな段取り ⑦想定されるトラブルや心身の健康に関する対応の確認 などなど。何度もシミュレーションを重ねました。

このような下準備があったからこそ、少々トラブルはあったものの、旅を終えることができたのだと思います。子どもたちの姿の裏にある担任・養教の頑張りにも、ねぎらいの声をかけてくださると幸いです。(この修学旅行に限らず、様々な教育活動の裏には、時間がかかる入念な下準備があります。このこともご理解いただけると幸いです。)